

# 令和8年度 市民大学講座 講座内容

月日	演題・講師	内 容
第1回 7/21 (火)	地域と学校はどう協力し災害に備えるか 信州大学 教育学部 教授 ひろうち だいすけ 廣内 大助 さん	突発的な災害にどんな備えが必要でしょうか。災害時にできることは限られます。学校や地域にどんなリスクがあり、どう対処すべきか事前に知り備える必要があります。地域と学校が普段から連携せねば子供の命は守れません。学校がどう備えるのか、東日本大震災の教訓を踏まえ、学校の具体的な対策と地域との連携について防災管理、防災教育の点を踏まえて解説します。
第2回 8/4 (火)	わかりやすい説明とは？ —認知心理学から考える— 信州大学 教育学部 教授 しまだ ひであき 島田 英昭 さん	「説明がわかりにくい！」と思った経験はないでしょうか。機器の操作マニュアル、標識、教科書、案内状など、身の回りには様々な「説明」があります。本講座では、説明がわかりにくい原因を認知心理学の立場から分析し、わかりやすくするための方策を考えます。説明を考える、すべての方が対象です。
第3回 8/18 (火)	読みやすい文字を書くために —文字の成り立ちを楽しみながら— 信州大学 教育学部 教授 こばやし ひでよ 小林 比出代 さん	「美文字」が脚光を浴びた昨今、私たちが日頃使っている文字について、その成り立ち等のよもやま話を楽しみながら、それらの書き方に共通する「約束事」を確認し、日常用いている硬筆筆記具で実際に書いてみましょう。人間と「手で文字を書くこと」は切り離せず、自身の書き文字とは一生のおつき合いになります。豊かな手書き文字への一歩をご一緒に踏み出せますと嬉しいです。※鉛筆をご持参ください。
第4回 9/1 (火)	AIとともに働く10年後 信州大学 全学教育センター特任教授 すずき じろう 鈴木 治郎 さん	インターネット利用の浸透に伴い何かわからないことがあれば、まずは検索という時代の今、人工知能技術の中でも、とくに生成AI技術の浸透により「知る・調べる」という行為自体が変質を始めました。人工知能の技術発展はどこまで私たちの社会を変えるのでしょうか。

## ■申込方法

電子申請	FAX	郵送 (又は持参)
 QRコードからながの電子申請サービスを通じてお申込み下さい。	下記(申込記入欄)を記入の上、FAXして下さい。  FAX番号: 0263-71-2338	下記(申込記入欄)を記入の上、切り取るか、同様の内容を記載の上、郵送して下さい。  送付先: 〒399-8281 生涯学習課 宛 (住所記載不要)

## ■会場案内



申込み受付後、案内状等の発送は行いませんのでご注意ください。

## ■申込記入欄

氏名				電話番号		
住まい	<input type="checkbox"/> 豊科 <input type="checkbox"/> 穂高 <input type="checkbox"/> 三郷 <input type="checkbox"/> 堀金 <input type="checkbox"/> 明科 <input type="checkbox"/> 市外( )	年代	<input type="checkbox"/> 24歳以下 <input type="checkbox"/> 25~44歳 <input type="checkbox"/> 45~64歳 <input type="checkbox"/> 65歳以上			
希望講座	<input type="checkbox"/> 第1回(7/21) <input type="checkbox"/> 第2回(8/4)	<input type="checkbox"/> 第3回(8/18) <input type="checkbox"/> 第4回(9/1)				
受講形式	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> 手話通訳 <input type="checkbox"/> 要約筆記 <input type="checkbox"/> オンライン(Zoom)視聴(メール: @ )					